

原点に立ち返り、モノづくりを、足元から見直したことで、
世界に通用する、唯一無二のローカルのグローバルがある。
ということを、改めて知らしめる映画だ。

景観、風景、機織りに、緻密な創作過程がある。

だからこそ、オリジナリティがある。アイデンティティがある。

それを新たに、打ち出したことで、未来に繋ぐ、希望の映画となった。

金丸弘美(総務省地域力創造アドバイザー)

わたのまち、応答セヨ

5月2日(金)より公開